

## 特集

ライターSの患者さんインタビュー⑧

### 「顎関節症も治り、いいことばかりです」

40歳を過ぎてから矯正治療を始めたOさんにお話を伺いました。インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。全文はホームページをご覧ください。

◆矯正治療を始めようと思っただけは？

子供のころから歯並びが悪く、前歯が重なって生えていました。見た目も気になっていました。口の閉閉がしづらという顎関節症と思われる症状もあって、なんとかしたいとずっと思っていました。歯列矯正というのがあるということを知っていました。治療をするまではいかず。でも年を重ねるとともにだんだん口腔環境が悪くなってきたのです。力を入れないと口を閉じられないような状態で、寝ている時の歯軋りもひどくなり、口を開けたまま寝ているためか、朝

起きた時に咳がとまらない。もうこれを放置していたら、とんでもないことになる、きちんとした医院で治療をしないとダメだ！ と思って医院を探し始めました。

◆医院探しはどのようにしましたか。

インターネットで調べました。治療前後の写真を載せているサイトはたくさんありましたが、ひるま矯正歯科のサイトでは、ドキュメンタリー矯正治療として、本当の治療の流れを克明に最後まで追っています。こういう医院は他になかったので決心しました。

◆治療中、不安になることはありませんでしたか。

心配性なので、通院を始めた直後はメールでも何でも質問をしていました。そのたびに詳しいお返事をいただく、それを読んだら納得できるのですが、また治療のときに補足の説明をしてくださるんです。すごく心を砕いて対応してくだ

さるのがわかったので、装置を着ける時になったら、いくら心配性の私でも本当に心配事がなくなっていました。

◆矯正治療をしてよかったですか。

カウンセリングの時に顎関節症は矯正治療で完全に治るかどうかはわからないと言われていました。ところが治療が終わってみたら口がまっすぐ開くようになったんです！ 口の閉閉がスムーズで、それがもう本当に嬉しいです。全部の歯で噛むことができるようになって食べ物も一段とおいしく感じるし、歯軋りもなくなりましたので睡眠もちゃんと取れるようになりました。それに、ターゲットルックが着られるようになったんです！ 以前は下顎が小さくて似合わないのが敬遠していたんですが、いいことばかりですね。

心配性なのに心配事がなくなりました。Oさん、いいことばかりで本当によかったです！！(S)

### Oさんの症状について解説します



●初診時の診断：「成人矯正、叢生を伴う上下顎前突症」

Oさん(40代)は他院で上顎右側側切歯のみの抜歯により治療を行った結果、上顎歯列の正中は右側にずれ、噛み合せは左右非対称で不安定な状態で当院に来院。歯軋りも気にされておりこれらの改善を希望されました。

治療方針としては、噛み合せを安定させるために上下の歯数、上下歯列の正中を一致させ、臼歯関係を左右ともに1級関係にすること、上下顎前歯を後退させることとしました。歯軋りは噛み合せが直接の原因でない事から改善しない可能性があるけれど、不安定な噛み合せで歯軋りをする事は歯や歯周組織、顎関節に対して様々な悪影響が懸念される事から噛み合せを改善し歯軋りが気にならなくなれば良いと説明しました。治療結果は、上下顎前歯が後退した事により口唇の突出感や緊張感が改善、上顎歯列正中は左側に移動し顔貌の正中と一致する事ができました。口腔内は上下歯列の正中が一致し左右の対称性が高い噛み合せになり、最後方臼歯まできちんと咬合でき噛み合せは安定。歯軋りも改善されました。

